

令和4年度 福井県立科学技術高等学校 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 教育課程 学習指導 研修	生徒の活動を主体とした年間学習指導計画を作成する。	94%の教員が、生徒の活動を主体とした年間学習指導計画を作成し、計画通りに進められたとしている。授業の進捗は「(ちょうど、おおむね)良かった」と答えた生徒が93%であった。また、「速く感じた」と答えた生徒は2%である。生徒に合った学習指導計画が、適切に実行され、わかりやすい授業が行われていると考えられる。	コロナ禍で、出席停止になる生徒への対応が重要になっている。インターネットを利用した授業配信を行っているが、双方向の利点を生かして、生徒の理解状況を確認しながら、授業を進めていくことが大切になる。また、今年度より、新学習指導要領が実施されたのに合わせ、よりわかりやすい授業を目指し、新学習指導要領に即した次年度の学習指導計画を作成する。
	小テストの実施、ICT教材の活用、レポート・課題などを通して生徒の知識の定着を図り、学習到達度の自己理解を深めさせる。	レポート・課題の提出は、93%の生徒ができていた。また、授業内容については、84%の生徒が、「(よく、おおむね)理解できた」と答えており、知識の定着が図られている。一方で、「(あまり、まったく)理解できなかった」と答えた生徒が、1、2年生で20% (全学年で16%) いる。理解不足の生徒に対する対応が求められる。	授業の進捗に関しては、良好な結果が得られたが、授業内容の理解に関しては、十分ではない生徒が20%程度いる。ネット上に公開されている教材動画などを有効に活用し、理解を深めることも一つの方法である。また、従来から行われている、小テストなどを活用して理解不足の部分を見つけ出し、補っていくことも大切である。
2 生徒指導	毎朝遅刻指導を行い、基本的な生活習慣を身につけさせる。	遅刻回数が学期に3回以下の生徒は97%であり、ほとんどの生徒が規則正しい生活を送っている。しかし、意識が低い生徒も若干おり、遅刻や基本的な生活習慣が送れていない生徒は決まった生徒の場が多い。	毎朝の生徒玄関前での指導等の効果が上がっている。遅刻の多い生徒に対して保護者と連携を密にし、生徒に対しては褒めることや声掛けなどを徹底して意識づけの工夫などを継続して指導する。
	頭髮服装の指導を通して、校則遵守の必要性を理解させる。	生徒は99%の高い数値で、目標をクリアできている。保護者の意識も97%と高く、校則遵守にご協力いただいているが、昨年度に比べると保護者の意識が下がってきているので、周知徹底を図りたい。	規範意識がやや低い生徒に対しては日頃から声をかけ、生徒が自分を律する態度が身につくように粘り強く指導する。また保護者にも校内規範について周知徹底を図り、高い数値を維持したい。
	部活動の充実を図る。	部活動の加入率は、1年生91%、2年生81%、3年生81%である。そのうちの88%の生徒は、積極的に参加している。	部活動の活性化をいっそう図るため、全校集会などで部活動を継続させる働きかけを行い、加入率の維持と向上を図る。
3 進路指導	進路一斉模試、進路一斉指導等を実施し、基礎学力の向上と進路意識の高揚を図る。	進路に対する意識を高める項目では、3年生が98%、2年生は87%、1年生は75%である。2、3年生は昨年度と変わらないが、1年生は達成目標より低いので今後の課題として取り組む。保護者は98%、教職員は91%の高い割合である。	1年生のうちから、県内企業の現状や社会情勢を伝えたり企業見学や進路ガイダンスを積極的に行い、もっと意識を向上させたい。2・3年生においては向上がみられるため、今後も継続して指導する。
	進学や就職のガイダンス、面接、作文指導等を実施し、選考試験に合格できる実力を身につけさせる。	98%の保護者に「子供の進路指導に(おおむね)満足している」という評価をいただき十分な成果を得ている。また、99%の3年生が、身なりや言葉遣いの向上を実感している。	生徒の希望する進路先に進めるよう次年度も面接練習を充実させる。進学や就職のガイダンスをさらに充実させて、生徒が自信をもって試験に臨めるように指導する。
4 保健管理	健康診断と事後処理を計画的に実施し、必要に応じて早期治療を働きかける。	新型コロナウイルス感染症予防に関して、教員・保護者併せた90%以上と、ほとんどが「注意を払って(おおむね)生活できた」と答えている。その一方で日常の健康管理ができたと回答した生徒は88%、保護者は87%とコロナとは約3%の差があり今後の課題として取り組む。悩み事アンケートの記入の有無では、「できた、おおむねできた」が、95%であったが、最終的には100%にする必要がある。	保護者にも協力を得て、自分の健康課題を意識させ、日常の健康管理に主体的に取り組めるように働きかける。新型コロナウイルス感染症予防の取り組みも継続して行う。また、生徒の心の健康を育む取り組みでは、すべての生徒が悩み事を誰かに伝えることができるように、悩み事アンケートをはじめとしてその手段を増やし、教員間の連携を密にして生徒の声を受け止めていく体制を更に整えたい。
	学習環境に関心を持ち、環境の美化・整備を進める。	清掃活動への取り組みについて、99%生徒が取り組めたと答えている。今後は、より自主的に取り組めるように働きかけていきたい。また、ほとんどの教員が安全で清潔な学習環境の形成に取り組む、97%の保護者が学習環境について満足している。	校舎内外での清掃活動や清潔で安全な学習環境を形成する体制が出来ている。今後も継続して生徒が自らの学習環境に関心を持ち整えられるように働きかけたい。
5 保護者との 連携	保護者と学校との連携事業(ブランチャ花壇作り、学校祭バザー販売、強歩大会湯茶サービスなど)を実施する。	保護者と教職員が共同して取り組むPTA活動の企画に関して、「(たいへん)積極的な企画だと思ふ。」と答えた保護者が96%となり、また97%以上の生徒が「(とても)良いことだと思ふ。」と答えている。しかし、教職員に対しては「(たいへん)積極的に活動していた。」と答えた割合が73%と、目標の70%を超えているものの低い数字となった。これはコロナ禍における活動の縮小によって、保護者と活動する機会が減ってしまったのが原因であると考えられる。	コロナ禍であっても、教職員と保護者が関わられるようなイベントを企画することで、つながりを強化したい。また、ホームページを充実させ、教職員・保護者が連携できる情報を発信していく。
	広報活動の一環として、PTA広報誌「水仙」の充実を図る。	水仙の内容に関して、「(おおむね)適切であった」と答える教職員が97%になった。保護者に関しては、91%が水仙によって、学校で行っている行事を「(おおむね)理解できた。」と答えた。しかし、「(まったく)理解できない」と答えた保護者も1%いるので、その原因を精査することが今後の課題である。	PTA活動に対して、保護者にさらなる理解を深めていただけるよう充実した広報誌を目指す。また、PTA広報委員の方々が長く活動を続けられるように、今後も無理のないスケジュールにしたい。
6 図書指導	広報活動を通して、読書に親しみをもち、読書に興味を持たせる。	89%の保護者が「こどもが読書の必要性を感じるようになった」と回答しているのに対し、生徒の読書や図書委員会の活動に関する興味・関心は、58%と昨年同様目標に達していない。今以上に何らかの工夫が必要である。	スマホ、ゲーム等のデジタル機器による若者の読書離れが危惧されている。生徒の読書への興味・関心の持たせ方の工夫として、授業での図書や図書室の利用を促す。また、保護者への広報活動も拡充していく。
	視聴覚教材の効果的利用を図る。	若手の教員が研修等を行ってICT機器の授業での活用の仕方について積極的に取り組んでいる。生徒もタブレット等の有意義な活用に意欲的である。	今後もICT機器や視聴覚機器の活用に積極的に取り組み、生徒の理解度を高めていく必要がある。そのためにもより使いやすい環境整備を考え、充実させる必要がある。
7 ものづくり 教育	検定や資格試験に積極的に取り組む。	保護者96%、教職員95%、生徒89%ですべてが資格試験や検定に積極的に取り組み、目標を達成できている。	今後も資格試験や検定に積極的に取り組み、学習意欲を喚起させる。また合格率及び合格者数が増えるよう継続して支援する。
	学科での実習で、基本的知識・技術を身につけさせ、課題研究では、校内での発表会において、成果を披露させる。	保護者98%、教職員95%、生徒92%ですべてが目標を達成できている。実習見学会や課題研究発表会を積極的に利用することが大切である。	実習では基本的知識・技術を、課題研究ではさらに高度な専門的な知識・技術を身につけさせ、ものづくりに興味関心を持たせる。
	ものづくりコンテストやロボットコンテスト・マイコンコンテスト・デザイン系コンクール等に積極的に参加させる。	保護者、教職員は目標を達成できているが、生徒が3年69%、2年63%、1年66%とどの学年も目標を達成できていない。達成できなかった要因として、ものづくりコンテストにおいては各2名までの参加で参加人数が限定されている。積極的に参加させるには新たなコンテストやコンクールに参加する工夫が必要である。	コンテスト・コンクール参加生徒が昨年度全体の約69%に対して、今年度66%と横ばいである。しかし、1年での積極的参加は昨年48%から69%とより積極的参加させることが出来た。今後は課題研究など授業での取り組み方を検討する。